

**2019年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	1
	所 属	文学部      フランス語圏文化学科 2年（留学年次） 2年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。  リヨン第二大学
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年      8月      30日    ～    2020年      3月      13日 出国日                      2019年                      8月                      26日 最終帰国日                      2020年                      3月                      21日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく仔細な記述をお願いします。

### 1. 留学全般について

#### (1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

前回の報告書にも記載しましたが、留学はとにかく手続きが多いです。出発前も出発後も帰国後もとにかく多くの手続きを行う必要があります。私の場合は特に、コロナウイルスの影響で途中帰国をしなければならなかったため、緊急性の高い手続きが多くありました。こういった手続きや臨機応変な行動を独りでやり遂げたという経験は今後の人生において大きな糧になると確信しています。どこにしようとどんな状況でも自分はなんとかできるという自信を持ちました。

また、語学面に関しても成長を感じています。もちろんこの留学でフランス語をマスターできたわけでも、流暢に話すことが出来るようになったわけでもありませんが、自分なりにステップアップしました。

「留学」というと、いかに語学力を向上させることができたかを重視する傾向がありますが、それ以上に人間として成長できるものです。私はこの留学でたくさんの人と出会い、たくさんの場所に赴き、たくさんの経験をしましたが、それこそが私の財産だと思います。

#### (2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

基本的に行うべき準備はしたと思いますが、英語をもう少し勉強してから留学に臨めばよかったなと思います。留学生向けの授業では、フランス語でみんなが理解できないことを主に英語で説明します。また、授業後の留学生同士の会話はどうしても英語が主流になります。

フランス語はできなくとも、英語ができることは至極当然のこととして扱われるので、英語ができないと困る場面が多くありました。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

開講されている授業のほとんどが現地の大学生向けなので、授業を聞き取るだけでも非常に難しいです。教授は優しく、フレンドリーな人が多いため、分からないことがあれば何でも聞けると思います。しかし、メールの返信はどの先生もとても遅いので、質問がある場合には直接聞くことをお勧めします。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

リヨン第二大学にはキャンパスが二つあり、一つは市街地にあるのですが、もう一つは郊外にあります。郊外のキャンパスに行くにはトラムで30分ほどかかるので少々遠いです。とても古い学校なので、特設施設が充実しているというわけではありません。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

**語学面：**留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

FEMI という留学生用の語学講座があります。事前の実力テストの結果に応じてレベル分けされます。授業では、主に文法を習いますが、学期末にはプレゼンテーションが行われます。1時間45分の授業が週2コマあり、毎回宿題も課されるため、少々きつい授業ではありますが、とてもためになります。2019年度から前期後期とも受講料が無料になりました。

**生活面：**生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

学期が始まるごとに、留学生のみの説明会とウェルカムパーティーが開催されます。ウェルカムパーティーでは、立食パーティーの形式をとってビンゴ大会なども行われました。そこで様々な国の留学生と親交を深めました。

**資金面：**現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

現地で得られる奨学金の情報は聞いたことがありません。奨学金ではないですが、大学近くの日本食レストランや日本人がオーナーをしているフレンチのレストランでバイトをして生計を立てている留学生がいました。

### (4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

パリ等に比べるととても治安が良いです。もちろん危ないところもありますが、夜間に近づかなければ問題ないです。しかし、日本と比べて治安が悪いことには変わりがないので、現地になじむ服装や行動を心掛けるべきです。

**(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。**

リヨン第二大学は他の大学と比べて、留学生を迎える体制があまり整っていない印象を受けました。近隣にあるリヨン第三大学では留学生に対応するためにあらゆる言語を扱えるスタッフが常駐していたり、留学生向けの授業が多かったり、日本語学部の生徒との交流があったりと体制が充実していましたが、リヨン第二大学は留学生自体も少なく、留学生向けの授業も少ないです。しかし、逆を言えば、「フランスの大学」を充分に感じる事が出来ます。ほとんどの授業をフランス人と受けることになるため、語学力に自信のある方であれば有意義な学校生活になるのではないかと思います。

**(6) 留学先での履修科目等**

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
CM- Poésie	
TD- Poésie	
TD- Suivi Linguistique et Méthodologique niveau A2	
Activités sportives	
CM- Histoire du cinéma 3	
TD- Phonétique et expression orale	
TD- FEMI Langue française cours 1	
TD- FEMI Lgue fr cours 2	

**3. 宿舎について**

**(1) 種類**

大学の寮

**(2) 家賃**

月額 (現地通貨) 約 394 € 、(日本円) 約 47000 円

**(3) 食事**

自炊

**(4) 大学までの交通手段、所要時間**

自転車/バス 計 15~40分 (キャンパスによって通学時間が変わります)

**(5) 感想、良かった点・悪かった点**

良い点は部屋がとても広かったことです。悪い点は寮の人数に対して洗濯機が少なく、時間を見計らわないと洗濯ができなかった点です。

**4. 費用について**

**(1) 学 費**

協定留学のため、学習院の学費のみでした。

## (2) 渡航方法と金額

飛行機

正確な金額は分かりませんが、復路は緊急帰国だったため、通常より価格が高いと思います。

## (3) 生活費

月額（日本円）約 10 万円 （宿舍費込み）

## (4) 費用の持参方法

クレジットカード／現金

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

フランスはクレジットカード社会なので、クレジットカードを最も使っていました。クレジットカードは予備も含めて二枚は持参した方が良いと思います。また、私は現金をあまり持って行かなかったのですが、使う機会は割とあるので 5 万円は現金で持っていくことをおすすめします。

## (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

生活費に充てていました。

## 5. 保険について

### (1) 保険会社名

東京海上日動火災保険株式会社

### (2) 保険料

106080 円

### (3) 加入した保険の種類、内容

海外留学保険

### (4) 感想、良かった点・悪かった点

飛行機の遅延や欠航に対する保険が充実していないので、留学期間中にたくさん旅行をしようと考えている人には向かない保険かなと思います。今回の留学でこの保険を使う機会はありませんでした。

## 6. 荷物について

### (1) 荷物の送付方法

手荷物／航空便

### (2) 持って行って良かったと思う物

- ・留学前に学習院や現地の大学に提出した書類
- ・証明写真
- ・数日分の食糧（お米など）

### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

- ・夏服

(4) 持って行けば良かったと思う物

- ・日本食
- ・リュック

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

昼間は学校で授業を受け、夜は私の家で友達と夕食を一緒に作るが多かったです。

(2) 週末

旅行や観光に行くが多かったです。

8. 後輩へのアドバイス等

留学を決断するのはとても勇気がいることだと思います。特にフランス語圏文化学科では、留学＝留年を意味します。留年してまでも、友達と離れてまでも、サークルや部活に出られなくなっても、本当に自分は留学がしたいのか悩むと思います。たくさん悩んで、自分には何が必要か慎重に決めていってほしいです。